

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 木下和彦 副委員長 大石晴夫・高橋英士

幹事 中山裕貴・内海哲哉 幹事補佐 加藤能史

日時 3月3日(木) 9:00~16:45

4日(金) 9:00~17:15

会場 オンライン開催

議題 エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 一般

3日午前 ICM1 (9:00~10:15)

1. iPaaSでのサービス連携におけるノード自動生成方式の提案 ○山崎謙太・那須弘志(日立)

2. 既存ジョブスケジューラ製品向けのインターネット越しジョブ実行通信方式の検討

○水野潤・松井章・中村聡(日立)

3. リレーショナルデータベースとグラフデータベースのハイブリッドシステム構築手法の提案

○杉本昌司・山崎公義・遠藤哲志・大野木健太(NTTコムウェア)

招待講演1 (10:30~12:10)

4. [招待講演] TM Forumの最新動向—IoT/5G時代のAutonomous Network検討動向について—

小石川俊文(NTTコムウェア)

5. [招待講演] コロナ禍におけるリモートワーク環境に適したデザイン思考とDevOpsを取り入れた新たな開発プロセスの実践

○鈴木秀典・西江将男(NTTコミュニケーションズ)

3日午後 ワークショップ (13:00~17:00)

6. 2022年情報通信マネジメント(ICM)ワークショップ(第二種研究会)

テーマ:2030年の6G時代に向かって加速する情報通信マネジメントの進化

4日午前 ICM2 (9:00~10:15)

1. 操作ログを対象としたクエリの表現及び検索方法の提案と評価 ○小矢英毅・片岡明・大石晴夫(NTT)

2. 操作間共起性に着目した操作ログの作業分類法に関する適用性検証

○内田諒・横瀬史拓・若杉泰輔・土川公雄・大石晴夫(NTT)・ト部有記(NTT東日本)

3. 業務状況に連動したPC操作自動化支援の提案 ○横瀬史拓・大石晴夫(NTT)

招待講演2 (10:30~12:10)

4. [招待講演] Fuzzy Logic-based Client Selection for Federated Learning in Vehicular IoT Celimuge wu (UEC)

5. [招待講演] Internet Transport Economics—a new approach to characterize the Quality of Service (QoS) of Internet services—

Richard T.B. Ma (NUS)

4日午後 ICM3 (13:00~14:15)

6. 広域NW情報基盤KANVAS及びシステム自動設計技術WeaverによるキャンパスNWの障害自動復旧技術

○田辺和輝(NEC)・口井敢太・正面佑真・近藤賢郎(慶大)・黒田貴之・里田浩三(NEC)・寺岡文男(慶大)

7. ネットワーク故障発生時の故障調査範囲探索手法の提案

○佐久間誠志・佐藤亮介・中村瑞人・山越恭子(NTT)

8. 強化学習を適用したネットワーク障害復旧フレームワークの提案

○宮本達史・毛利元一・宮坂拓也(KDDI総合研究所)

ICM4 (14:30~15:45)

9. [奨励講演] 移動体通信併用型MANETにおける端末密度を用いた中継領域制御

○小野翔多(東大)・山崎 託・三好 匠(芝浦工大)・西山勇毅・瀬崎 薫(東大)

10. 条件分岐フィルタによる設定手順書抽出方式の提案 ○中西弘毅・横瀬史拓・大石晴夫・柴田朋子(NTT)

11. 電力情報とネットワーク情報の連携・補完利用によるネットワーク強靱化方式の提案

○佐藤 玲・篠崎雄二・中村義和・大林憲彦・藤本智也(NTT)

ICM5 (16:00~17:15)

12. 逐次蓄積型学習ベース異常検知における学習データ抽出手法 ○深澤那月・阿多信吾・岡 育生(阪市大)

13. トレイルラン大会運営を支援する走者追跡システム

○深江 涼・木下和彦(徳島大)・船田悟史・三好健文(イーツリーズ・ジャパン)

14. IoTの多端末収容環境下での効率的な位置登録方式 佐竹 孝(NTT)

【問合先】

ICM研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>